

親子で楽しむ町内の文化財 ～ パートⅢ ～

「歴史の宝石箱」播磨町。身近なところに、地域の人びとが大切に受け継いできた貴重な文化財があります。

【問い合わせ】郷土資料館 ☎079(435)5000



播磨町マスコットキャラクター
いせきくん、やよいちゃん

10 蓮花寺の浜田時化の碑

今月は蓮花寺にある浜田時化の碑を紹介します。



▲140年前のできごとを今に伝える

- 「クイズ」
- 「しげ」とは何のようないことをいっているでしょう。
- ① 海が雨風で荒れること
 - ② 魚がなぜかとれないこと
 - ③ 小さな津波のこと



蓮花寺の本堂に向かって、手を合わせた後、境内を北西の角へ向かって足を進めると、すつくと建つひとつの碑があります。その碑の文面には次のようにあります。

中央に「烈風漂没義救遭難ノ霊」

左右には十五名の名

ここには、今、東本荘と言われる浜田地区の沖で起きた悲しいできごとが刻まれています。

時は明治三年九月十九日(西暦換算一八七〇年十月二十五日)で、時代としては、西洋化が始まり、シヨセフ・ヒコも二度目の帰郷をする二ヵ月ほど前になります。伝承によると、その日は、朝から海が荒れていて、夕刻になるとさらに波は高くなっていました。村では、阿門神社あえでの秋の宵宮(二十一日)を前に、屋台組みなど準備に忙しくしていると、浜田沖で舟が沈み、助けを求めている、との知らせが駆け抜けます。男たちは、波が牙のように襲う中、助けに向かいますが、その舟も沈み、三十名とも五十名ともいわれる人たちが亡くなった、このことです。この慰霊碑には十五名が記されていますが、犠牲者の中には阿波(徳島県)や備州(岡山県)の人もいたこのことです。そして、このできごとを忘れないと、一九一八年に、浜田地区にひろわれました。その後一九七〇年に、現在地へ移されました。すでに時が流れ、記録の中になくできごとですが、この碑に向かうとき、できごとを語る人はいなくなっても、大切な思いを伝えるものがあるこの重さを、しみじみと感じます。

(郷土資料館 館長 田井恭一)

■ クイズの答 ①海が雨風で荒れること